



modulat inc.

ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」

平成20年12月18日

各 位

上場会社名 モジュール株式会社
(コード番号3043:大証ヘラクレス)
本社所在地 東京都港区赤坂二丁目10番9号
代表者 代表取締役 松村 明
問合せ先 ストラテジック・オペレーション・サービス
マネージャー 本間 浩一
電話番号 (03) 5575-5721 (代表)
(URL <http://www.modulat.com/>)

「弊社経営統合の現状について」に関するお知らせ

スリープログループ株式会社との経営統合について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

(別紙)

平成 20 年 12 月 18 日

株主の皆様へ

モジュール株式会社
代表取締役 松村 明

弊社経営統合の現状について

モジュール株式会社で代表取締役をさせて頂いております松村でございます。
日頃、当社に温かいご支援やご指導を賜りまして深謝申し上げます。

また、今回のスリープログループ株式会社との経営統合（以下、本統合と申します）につきましては、ご心配をお掛けしている事を心よりお詫び申し上げます。

去る本年9月に本統合の協議を開始し、同10月には本統合に向けた当社株式の公開買い付けへの賛同表明を行い、その後も両社で誠意をもって前向きに協議を続けて参りました。しかし、その過程において両社の経営方針の違いにより、どのような方法を取る事が今後の両社及び当社の企業価値ひいては当社株主様、お客様、取引先様を含めたステークホルダー全体の利益に資する方法であるのかについて、合意に至る事が出来ない事項が発生致しました。

当社は当該事項を慎重に協議した結果、当社の企業価値ひいては当社株主様、お客様、取引先様を含めたステークホルダー全体の利益に資するとは限らない可能性が生じたままで公開買い付けを成立させてしまうことは避けるべきとの真摯な判断により、公開買い付けに対する当社の意見を賛同から反対へ変更させて頂いた次第です。

なお、2008年11月27日ぎりぎりまでスリープログループ株式会社との協議を続けさせて頂きました結果、皆様への開示が2008年11月27日当日になってしまい、ご心配やご迷惑を、お掛け致しました事を深くお詫び申し上げます。

当社は、現段階でも経営統合に向けた協議継続を希望しており、過日スリープログループ株式会社へ両社とも代理人を通じて協議を行いたい旨の申入れを行い、スリープログループ株式会社も基本的にこれに同意して頂きました。今後は代理人を通じて引続き協議を継続してゆく予定です。

企業活動の情報開示については、株主様やその他のステークホルダーとの関係などを考慮しつつ、公平公正になされるべきものと考えられます。そして、本統合につきましては、当社は引続きスリープログループ株式会社との協議を継続してまいる所存であり、その為、少なくとも現時点においては協議内容や合意に至る事が出来ない事項などに関する開示は控えさせていただく必要があります。

すなわち、当社もこれまでの本件の経緯などに関し当社の認識や見解を明らかにしたいとの考えも少なからず有しておりますが、協議継続中という流動的な状況において、協議以外の場でこれらの事項を開示することは、協議の支障となり、結果として必ずしも当社の利益に資さない可能性があり、さらに、両社が協議継続中であるにもかかわらず協議以外の場でそれぞれ自己の主張を公表し合うに至る場合には、かえって両社の株主様その他のステークホルダーに対して無用な混乱を与えると考えられるため、詳細な内容の開示は控えさせていただく必要がございます。

協議結果の開示につきましては、後日確定的な公表が可能となりました時点で、スリープログ룹株式会社の同意を得た上で開示させていただくこととなりますので、ご理解賜りたくお願い申し上げます。

当社は創業以来、企業向けITサービスという縁の下の力持ち的な仕事に堅実に取り組み、多くのお客様と多くの仕事を通じまして、この仕事が少しでも社会のお役に立つと頑なに信じ、上場企業をはじめとする多くのお客様企業にサービスをご提供し続ける為、信頼おける役職員と共に愚直に仕事を行い、法令と社会秩序、経済秩序を重んじて行動しております。当社のお客様からは、現状においても新しいご契約を頂戴しており、また「モジュールの経営ポリシーやサービス内容が変わらない事が大切」との励ましのお声まで頂戴しております。

当社は今後ともその堅実性を変えることなく、当社の企業価値ひいては当社株主様、お客様、取引先様を含めたステークホルダー全体の利益に資する為の努力を継続して参りますので、株主の皆様には従前通りのご支援やご指導を頂きたくお願い申し上げます。